

Epson ePOS SDK for JavaScript マイグレーションガイド

マイグレーションの概要

ePOS-Print SDK からのマイグレーション

ePOS-Device SDK からのマイグレーション

付録

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきまして、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Wi-Fi[®] は Wi-Fi Alliance[®] の登録商標です。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

© Seiko Epson Corporation 2016. All rights reserved.

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で弊社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

もくじ

■ 使用制限.....	3
■ もくじ.....	4

マイグレーションの概要..... 5

■ マイグレーションの種類.....	5
ePOS-Print SDK からのマイグレーション.....	5
ePOS-Device SDK からのマイグレーション.....	5

ePOS-Print SDK からのマイグレーション..... 6

■ ePOS-Print SDK 互換 API を使用するマイグレーション.....	6
マイグレーションの手順.....	6
SDK の置き換え.....	6
ePOS-Print SDK 互換 API を使用したアプリケーション開発.....	6
■ Epson ePOS SDK の API を使用するマイグレーション.....	7
マイグレーションの手順.....	7
SDK の置き換え.....	8
パッケージ名の変更.....	8
オブジェクトの変更.....	8
プリンターとの通信の接続と切断.....	9
ePOS-Print API からの印刷.....	11
Canvas API からの印刷.....	14
ステータスの監視.....	17
API の名称変更.....	20
API のオブジェクト変更.....	23
イベントの変更.....	25

ePOS-Device SDK からのマイグレーション..... 26

■ Epson ePOS SDK の API を使用するマイグレーション.....	26
マイグレーションの手順.....	26
SDK の置き換え.....	26

付録..... 27

■ ePOS-Print SDK 互換 API.....	27
TM-m10.....	27
TM-m30.....	31

マイグレーションの概要

本書は、以下の開発ツールを用いて開発したアプリケーションを Epson ePOS SDK for JavaScript (以降、Epson ePOS SDK) で動作するように修正する方法を説明したマニュアルです。

- ePOS-Print SDK for JavaScript (以降、ePOS-Print SDK)
- ePOS-Device SDK for JavaScript (以降、ePOS-Device SDK)

ePOS-Print SDK および ePOS-Device SDK は、新製品対応、新機能対応は行われません。本書を参考にして Epson ePOS SDK に移行 (マイグレーション) してください。

マイグレーションの種類

ePOS-Print SDK からのマイグレーション

ePOS-Print SDK を使用したアプリケーションの場合、以下の方法があります。

□ Epson ePOS SDK の互換 API を使用したマイグレーション

Epson ePOS SDK には、ePOS-Print SDK 互換 API が含まれていて、既存の API をそのまま使用できます。

既存のアプリケーションは、参照するライブラリファイル名の修正など最小限の変更で、Epson ePOS SDK 対応のアプリケーションに移行できます。

□ Epson ePOS SDK の API を使用したマイグレーション

既存のアプリケーションを、Epson ePOS SDK の API を使ったプログラムに修正することで、Epson ePOS SDK 対応のアプリケーションに移行できます。プログラミングシーケンスや API の変更など、プログラムの修正量は多くなります。

ePOS-Print SDK 互換 API と Epson ePOS SDK の、新製品や新機能への対応方針は、以下のとおりです。

新製品・新機能	ePOS-Print SDK 互換 API	Epson ePOS SDK
エプソン製 TM プリンター	○	○
エプソン製 TM プリンターの新機能	-*	○
タブレット端末、スマートフォンの新製品	○	○

○: 対応します -: 対応しません

* API の新規追加、変更が必要になる新機能には対応しません。

ePOS-Device SDK からのマイグレーション

既存のアプリケーションは、参照するライブラリファイル名の修正など最小限の変更で、Epson ePOS SDK 対応のアプリケーションに移行できます。

ePOS-Print SDK からのマイグレーション

ePOS-Print SDK を使用したアプリケーションを、Epson ePOS SDK 対応アプリケーションに移行する方法を説明します。

ePOS-Print SDK 互換 API を使用するマイグレーション

既存のアプリケーションのプログラムを修正して、Epson ePOS SDK 対応のアプリケーションに移行します。

マイグレーションの手順

変更手順は以下のとおりです。

手順		概要
1	SDK の置き換え	ライブラリファイルの置き換え 「 SDK の置き換え 」参照

以上で ePOS-Print SDK 互換 API を使用したマイグレーションは完了です。

SDK の置き換え

アプリケーションプロジェクトに組み込まれている以下のファイルを、Epson ePOS SDK のファイルに置き換えます。

プログラムから参照するファイル名を修正してください。

種類	ePOS-Print SDK	ePOS-Print SDK 互換 API
ライブラリ	epos-print-5.0.0.js	epos-2.0.0.js

ePOS-Print SDK 互換 API を使用したアプリケーション開発

ePOS-Print SDK 互換 API を使用したアプリケーションを開発・保守する場合に必要な情報は、以下のマニュアルを参照してください。

- ePOS-Print SDK 互換 API の仕様
「ePOS-Print SDK for JavaScript ユーザーズマニュアル」
ePOS-Print SDK 互換 API の仕様は、ePOS-Print SDK API の仕様と同じです。
- エプソン製 TM プリンターの新製品の機種情報・サポート API
本書「Epson ePOS SDK for JavaScript マイグレーションガイド」の[付録](#)

Epson ePOS SDK の API を使用するマイグレーション

既存のアプリケーションのプログラムを修正して、Epson ePOS SDK 対応のアプリケーションに移行します。

マイグレーションの手順

変更手順は以下のとおりです。

手順		概要
1	SDK の置き換え	ライブラリファイルの置き換え 「 SDK の置き換え 」参照
2	パッケージ名の変更	ePOS-Print SDK のパッケージ名を Epson ePOS SDK のパッケージ名に変更 「 パッケージ名の変更 」参照
3	オブジェクトの変更	ePOS-Print SDK のオブジェクトを Epson ePOS SDK のオブジェクトに変更 「 オブジェクトの変更 」参照
4	API の変更	Epson ePOS SDK と ePOS-Print SDK で仕様の異なる API の変更やプログラムを修正 変更する内容は、以下のとおりです。 <input type="checkbox"/> 特定の機能を実現するためにプログラムを修正 以下の機能を修正してください。 <ul style="list-style-type: none">プリンターとの通信の接続と切断 「プリンターとの通信の接続と切断」参照ePOS-Print API からの印刷 「ePOS-Print API からの印刷」参照Canvas API からの印刷 「Canvas API からの印刷」参照ステータスの監視 「ステータスの監視」参照 <input type="checkbox"/> API の名称変更 API の名称を変更するもの (パラメーターの変更が必要な場合もあります) 「 API の名称変更 」参照 <input type="checkbox"/> API のオブジェクト変更 「 API のオブジェクト変更 」参照 <input type="checkbox"/> イベントの変更 「 イベントの変更 」参照

以上で Epson ePOS SDK の API を使用したマイグレーションは完了です。

SDK の置き換え

アプリケーションプロジェクトに組み込まれている以下のファイルを、Epson ePOS SDK のファイルに置き換えます。

プログラムから参照するファイル名を修正してください。

種類	ePOS-Print SDK	Epson ePOS SDK
ライブラリ	epos-print-5.0.0.js	epos-2.0.0.js

パッケージ名の変更

アプリケーションのプロジェクトに設定されているパッケージ名を、Epson ePOS SDK のパッケージ名に変更します。

変更するパッケージ名

種類	ePOS-Print SDK	Epson ePOS SDK
ePOSPrint オブジェクト	window.epson.ePOSPrint	window.epson.ePOSDevice
ePOSBuilder オブジェクト	window.epson.ePOSBuilder	

オブジェクトの変更

ePOS-Print SDK から Epson ePOS SDK にマイグレーションする際に、以下のオブジェクトの変更を行います。

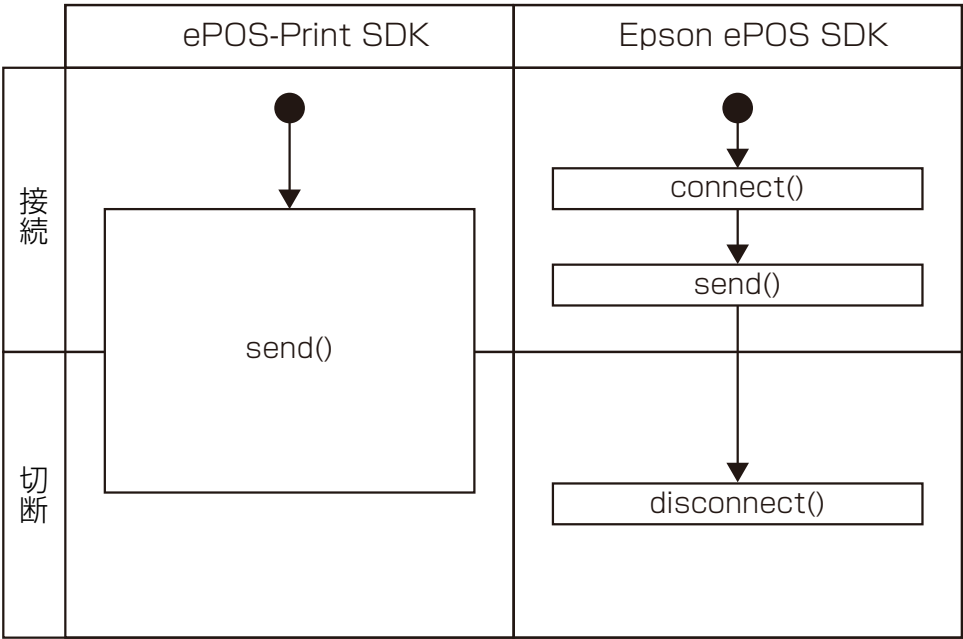
アプリケーションのプロジェクトで使用している ePOS-Print SDK のオブジェクトを、Epson ePOS SDK のオブジェクトに変更します。

種類	ePOS-Print SDK	Epson ePOS SDK
印刷機能	ePOSBuilder	Printer
	ePOSPrint	
	CanvasPrint	

プリンターとの通信の接続と切断

ePOS-Print SDK と Epson ePOS SDK では、プリンターとの通信の接続と切断の実装方法が異なります。下記を参考にしてプログラムを修正してください。

実行手順の違い



プログラムの違い

❑ ePOS-Print SDK

```
var address = 'http://192.168.192.168/cgi-bin/epos/service.cgi?devid=local_printer&time
out=60000';
//ePOSPrint オブジェクト生成
var epos = new epos.ePOSPrint(address);
//ePOSBuilder オブジェクト生成
var builder = new epos.ePOSBuilder();

// イベントの登録
epos.onreceive = function (res) { alert(res.success); };

// 印刷データの作成
builder.addText('Hello\n');

// 印刷データの送信
epos.send(builder.toString());
```

□ Epson ePOS SDK

```
var ePosDev = new epos.ePOSDevice();
var printer = null;

function connect(){
    // デバイスと接続
    ePosDev.connect('192.168.192.168', '8008', callback_connect);
}

function callback_connect(resultConnect){
    if ((resultConnect == 'OK') || (resultConnect == 'SSL_CONNECT_OK')) {
        //Printer オブジェクトを取得する
        ePosDev.createDevice('local_printer', ePosDev.DEVICE_TYPE_PRINTER, {'crypto' :
            false, 'buffer' : false}, callback_createDevice);
    }
    else {
        // エラーメッセージ表示
    }
}

function callback_createDevice(deviceObj, retcode){
    if( retcode == 'OK' ) {
        printer = deviceobj;
        printer.timeout = 60000;
        // 印刷完了イベントを登録
        printer.onreceive = function (res) { alert(res.success); };
        print();
    } else {
        alert(retcode);
    }
}

function print(){
    // 印刷データの作成
    printer.addText('Hello\n');

    // 印刷データの送信
    printer.send();
}

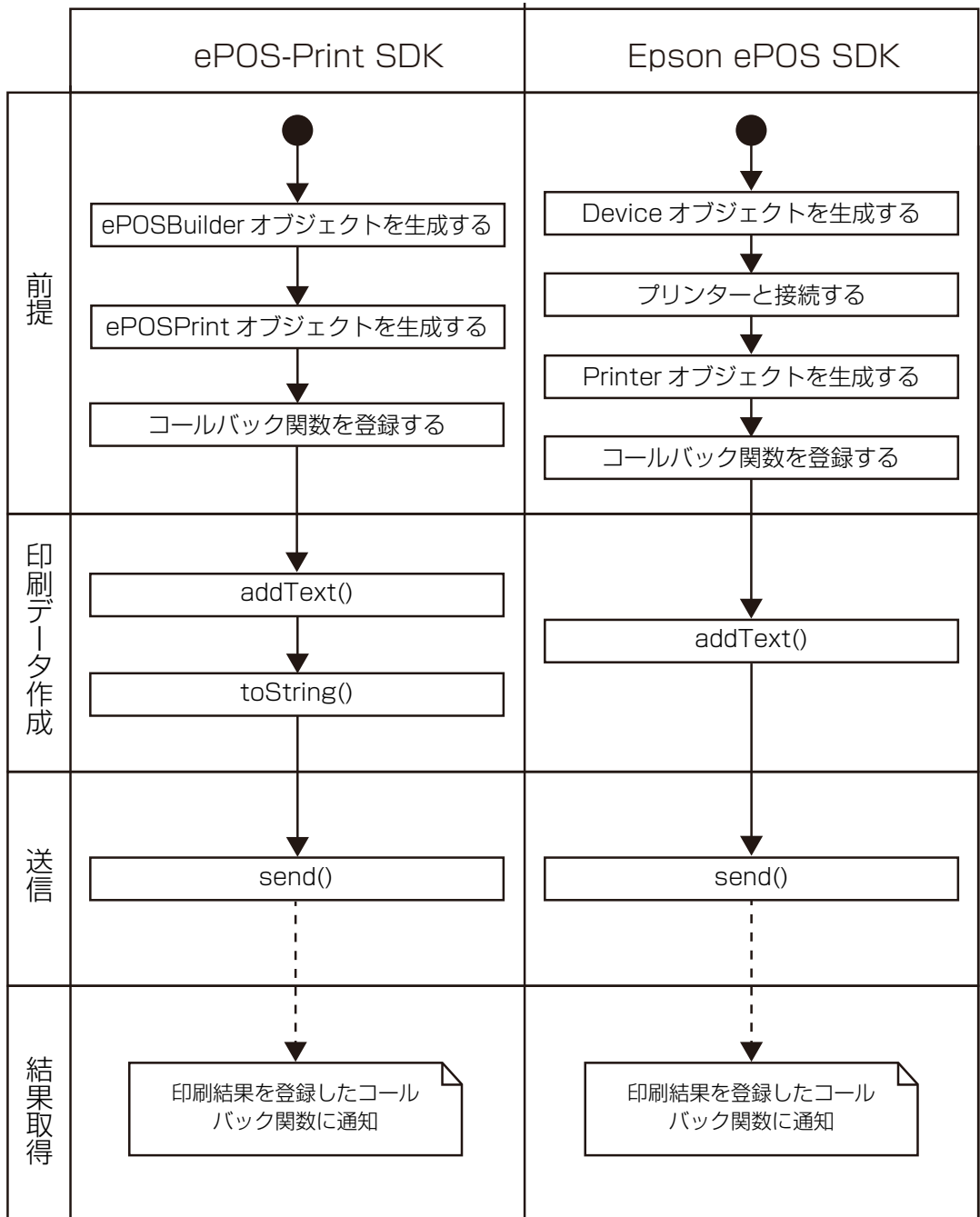
function disconnect(){
    //Printer オブジェクトを破棄する
    ePosDev.deleteDevice(printer, callback_deleteDevice);
}

function callback_deleteDevice(errorCode){
    // デバイスと切断
    ePosDev.disconnect();
}
```

ePOS-Print API からの印刷

ePOS-Print SDK と Epson ePOS SDK では、印刷機能の実装方法が異なります。下記を参考にしてプログラムを修正してください。

実行手順の違い



コールバック : ----▶

プログラムの違い

□ ePOS-Print SDK

```
var address = 'http://192.168.192.168/cgi-bin/epos/service.cgi?devid=local_printer&time
out=60000';
//ePOSPrint オブジェクト生成
var epos = new epos.ePOSPrint(address);
//ePOSBuilder オブジェクト生成
var builder = new epos.ePOSBuilder();

// イベントの登録
epos.onreceive = function (res) { alert(res.success); };

// 印刷データの作成
builder.addText('Hello\n');

// 印刷データの送信
epos.send(builder.toString());
```

□ Epson ePOS SDK

```
var ePosDev = new epos.ePOSDevice();
var printer = null;

function connect(){
    // デバイスと接続
    ePosDev.connect('192.168.192.168', '8008', callback_connect);
}

function callback_connect(resultConnect){
    if ((resultConnect == 'OK') || (resultConnect == 'SSL_CONNECT_OK')) {
        //Printer オブジェクトを取得する
        ePosDev.createDevice('local_printer', ePosDev.DEVICE_TYPE_PRINTER, {'crypto' :
            false, 'buffer' : false}, callback_createDevice);
    }
    else {
        // エラーメッセージ表示
    }
}

function callback_createDevice(deviceObj, retcode){
    if( retcode == 'OK' ) {
        printer = deviceobj;
        printer.timeout = 60000;
        // 印刷完了イベントを登録
        printer.onreceive = function (res) { alert(res.success); };
        print();
    } else {
        alert(retcode);
    }
}

function print(){
    // 印刷データの作成
    printer.addText('Hello\n');

    // 印刷データの送信
    printer.send();
}

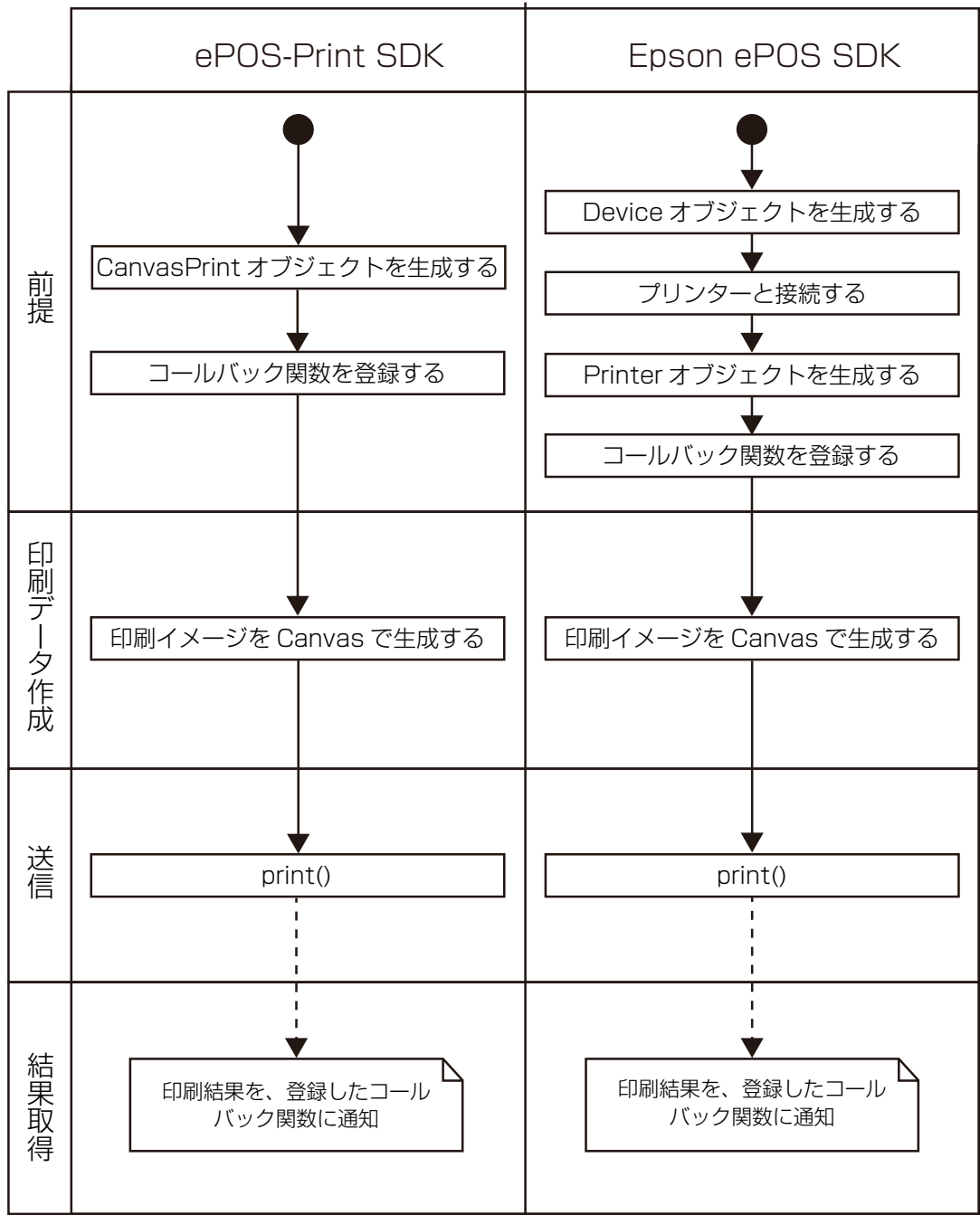
function disconnect(){
    //Printer オブジェクトを破棄する
    ePosDev.deleteDevice(printer, callback_deleteDevice);
}

function callback_deleteDevice(errorCode){
    // デバイスと切断
    ePosDev.disconnect();
}
```

Canvas API からの印刷

ePOS-Print SDK と Epson ePOS SDK では、Canvas API からの印刷機能の実装方法が異なります。下記を参考にしてプログラムを修正してください。

実行手順の違い



コールバック : ----▶

プログラムの違い

❑ ePOS-Print SDK

```
//Canvas に描画する
var canvas = document.getElementById('canvas');
if (canvas.getContext) {
    var context = canvas.getContext('2d');
    context.fillText("Test", 100, 100);
}

var address = 'http://192.168.192.168/cgi-bin/epos/service.cgi?devid=local_printer&time-out=60000';
var epos = new epos.CanvasPrint(address);

// イベントを登録する
epos.onreceive = function (res) { alert(res.success); };
epos.cut = true;
epos.mode = epos.MODE_MONO;

// 印刷を実行する
epos.print(canvas);
```

□ Epson ePOS SDK

```
var ePosDev = new epos.ePOSDevice();
var printer = null;

function connect(){
    // デバイスと接続
    ePosDev.connect('192.168.192.168', '8008', callback_connect);
}

function callback_connect(resultConnect){
    if ((resultConnect == 'OK') || (resultConnect == 'SSL_CONNECT_OK')) {
        //Printer オブジェクトを取得する
        ePosDev.createDevice('local_printer', ePosDev.DEVICE_TYPE_PRINTER, {'crypto' :
false, 'buffer' : false}, callback_createDevice);
    }
    else {
        // エラーメッセージ表示
    }
}

function callback_createDevice(deviceObj, retcode){
    if( retcode == 'OK' ) {
        printer = deviceObj;
        printer.timeout = 60000;
        // 印刷完了イベントを登録
        printer.onreceive = function (res) { alert(res.success); };
        print();
    } else {
        alert(retcode);
    }
}

function print(){
    // 印刷データの作成
    //Canvas に描画する
    var canvas = document.getElementById('canvas');
    if (canvas.getContext) {
        var context = canvas.getContext('2d');
        context.fillText("Test", 100, 100);
    }
    var cut = true;
    var mode = printer.MODE_MONO;

    // 印刷データの送信
    printer.print(canvas, cut, mode);
}

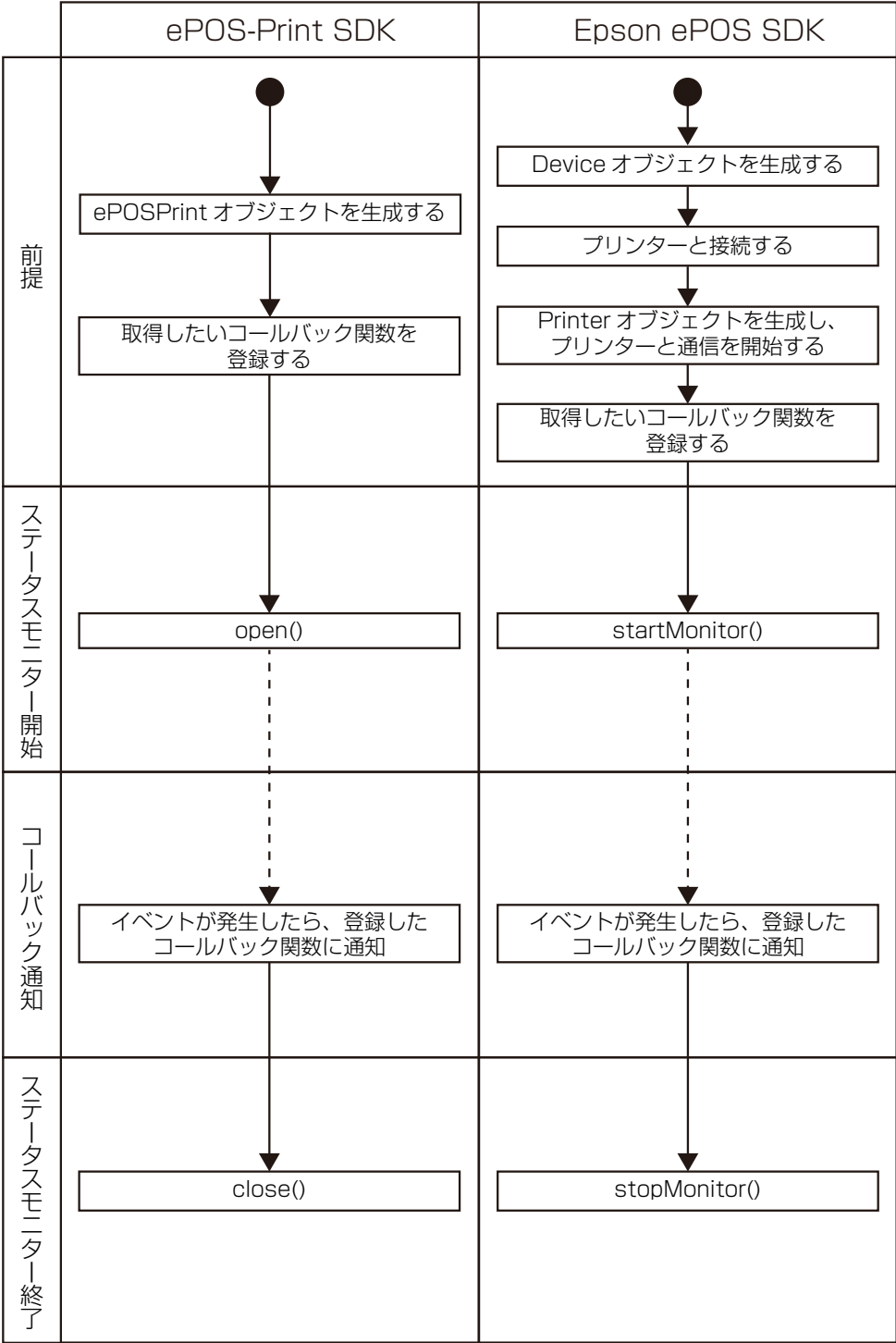
function disconnect(){
    //Printer オブジェクトを破棄する
    ePosDev.deleteDevice(printer, callback_deleteDevice);
}

function callback_deleteDevice(errorCode){
    // デバイスと切断
    ePosDev.disconnect();
}
```

ステータスの監視

ePOS-Print SDK と Epson ePOS SDK では、ステータスの監視機能の実装方法が異なります。下記を参考にしてプログラムを修正してください。

実行手順の違い



コールバック : -----▶

プログラムの違い

❑ ePOS-Print SDK

```
var address = 'http://192.168.192.168/cgi-bin/epos/service.cgi?devid=local_printer&time
out=60000';
var epos = new epos.ePOSPrint(address);

// イベントの登録
epos.onstatuschange = function (status) { alert(status); };
epos.oncoveropen = function () { alert('coveropen'); };

function open(){
    // ステータス監視の開始
    epos.open();
}

// カバーを開ける

function close(){
    // ステータス監視の終了
    epos.close();
}
```

□ Epson ePOS SDK

```
var ePosDev = new epos.ePOSDevice();
var printer = null;

function connect(){
    // デバイスと接続
    ePosDev.connect('192.168.192.168', '8008', callback_connect);
}

function callback_connect(resultConnect){
    if ((resultConnect == 'OK') || (resultConnect == 'SSL_CONNECT_OK')) {
        //Printer オブジェクトを取得する
        ePosDev.createDevice('local_printer', ePosDev.DEVICE_TYPE_PRINTER, {'crypto' :
false, 'buffer' : false}, callback_createDevice);
    }
    else {
        // エラーメッセージ表示
    }
}

function callback_createDevice(deviceObj, retcode){
    printer = deviceObj;
    if( retcode == 'OK' ) {
        printer = devobj;
        printer.timeout = 60000;
        // 印刷完了イベントを登録
        printer.onstatuschange = function (status) { alert(status); };
        printer.oncoveropen = function () { alert('coveropen'); };
        print();
    } else {
        alert(retcode);
    }
}

function startMonitor(){
    // ステータス監視の開始
    printer.startMonitor();
}

// プリンターのカバーを開ける

function startMonitor(){
    // ステータス監視の終了
    printer.stopMonitor();
}

function disconnect(){
    //Printer オブジェクトを破棄する
    ePosDev.deleteDevice(printer, callback_deleteDevice);
}

function callback_deleteDevice(errorCode){
    // デバイスと切断
    ePosDev.disconnect();
}
```

API の名称変更

ePOS-Print SDK から Epson ePOS SDK にマイグレーションする際に、名称を変更したり削除したりする必要のある API は下表のとおりです。API によっては複数の API が 1 つにまとめられたり、1 つの API が複数の API に分けられたりしたものが 있습니다。下表の API には、名称以外に仕様が変更になっている API もあります。

変更内容は「ePOS-Print SDK for JavaScript ユーザーズマニュアル」と「Epson ePOS SDK for JavaScript ユーザーズマニュアル」で API を比較してください。

名称変更する API の一覧表

オブジェクト		ePOS-Print SDK	Epson ePOS SDK
機能			
ePOSPrint オブジェクトおよび CanvasPrint オブジェクト			
ステータスイベントの初期化		open	startMonitor
ステータスイベントの無効化		close	stopMonitor
TM プリンターのアドレスを指定		address	connect
CanvasPrint オブジェクト			
用紙カットを指定		cut	print
カラーモードを指定		mode	

削除する API の一覧表

削除する API と対処方法は、以下のとおりです。

オブジェクト 機能	ePOS-Print SDK	対処方法
ePOSBuilder オブジェクト		
印刷ドキュメントの取得	toString	Epson ePOS SDK では不要になります。 詳細は、 11 ページ「ePOS-Print API からの印刷」 を参照してください。
ePOSPrint オブジェクトおよび CanvasPrint オブジェクト		
ステータスイベントの有効 / 無効を保持	enabled	本プロパティは、Epson ePOS SDK では使用できません。 (ePOS-Print SDK 互換 API でのみ使用可能です。) ステータスイベントの有効 / 無効を確認したい場合、アプリケーション内で管理してください。
TM プリンターのステータスを保持	status	本プロパティは、Epson ePOS SDK では使用できません。 (ePOS-Print SDK 互換 API でのみ使用可能です。) ステータスイベントを使用して、ステータスを取得して管理してください。
TM プリンターのバッテリーステータスを保持	battery	
通信エラーイベントの取得	onerror	本イベントは、Epson ePOS SDK では使用できません。 (ePOS-Print SDK 互換 API でのみ使用可能です。) ondisconnect イベントを使用して、通信エラーイベントを取得してください。
CanvasPrint オブジェクト		
位置揃えを指定	align	本プロパティは、Epson ePOS SDK では使用できません。 (ePOS-Print SDK 互換 API でのみ使用可能です。) Canvas で描画したイメージデータの位置揃えの設定をしたい場合、print メソッドは使用できません。 addTextAlign/addImage/send メソッドを組み合わせ、位置揃えの設定をしてください。
印字色を指定	color	本プロパティは、Epson ePOS SDK では使用できません。 (ePOS-Print SDK 互換 API でのみ使用可能です。) Canvas で描画したイメージデータの印字色の設定をしたい場合、print メソッドは使用できません。 addImage/send メソッドを組み合わせ、印字色の設定をしてください。
紙送り位置を指定	feed	本プロパティは、Epson ePOS SDK では使用できません。 (ePOS-Print SDK 互換 API でのみ使用可能です。) ラベル紙 / ブラックマーク紙の紙送りの設定をしたい場合、print メソッドは使用できません。 addImage/addFeed/addFeedPosition/send メソッドを組み合わせ、ラベル紙 / ブラックマーク紙の紙送りの設定をしてください。

オブジェクト		ePOS-Print SDK	対処方法
機能			
用紙種類を指定		paper	本プロパティは、Epson ePOS SDK では使用できません。 (ePOS-Print SDK 互換 API でのみ使用可能です。) 用紙種類の設定をしたい場合、print メソッドは使用できません。addLayout/addImage/send メソッドを組み合わせ、用紙種類の設定をしてください。
用紙レイアウトを指定		layout	本プロパティは、Epson ePOS SDK では使用できません。 (ePOS-Print SDK 互換 API でのみ使用可能です。) 用紙レイアウトの設定をしたい場合、print メソッドは使用できません。addLayout/addImage/send メソッドを組み合わせ、用紙レイアウトの設定をしてください。

API のオブジェクト変更

ePOS-Print SDK から Epson ePOS SDK にマイグレーションする際に、オブジェクトの変更が必要な API は下表のとおりです。

変更内容は「ePOS-Print SDK for JavaScript ユーザーズマニュアル」と「Epson ePOS SDK for JavaScript ユーザーズマニュアル」で API を比較してください。

ePOSBUILDER オブジェクトから Printer オブジェクトへ変更する API の一覧表

API		
addText	addTextLang	addTextAlign
addTextRotate	addTextLineSpace	addTextFont
addTextSmooth	addTextDouble	addTextSize
addTextStyle	addTextPosition	addTextVPosition
addFeedUnit	addFeedLine	addFeed
addFeedPosition	addImage	addLogo
addBarcode	addSymbol	addHLine
addVLineBegin	addVLineEnd	addPageBegin
addPageEnd	addPageArea	addPageDirection
addPagePosition	addPageLine	addPageRectangle
addCut	addPulse	addSound
addLayout	addRecovery	addReset
addCommand	halftone	brightness
force	message	

ePOSPrint オブジェクトから Printer オブジェクトへ変更する API の一覧表

API		
send	interval	onreceive
onstatuschange	onbatterystatuschange	ononline
onoffline	onpoweroff	oncoverok
oncoveropen	onpaperok	onpaperend
onpapernearend	ondrawerclosed	ondraweropen
onbatteryok	onbatterylow	timeout

CanvasPrint オブジェクトから Printer オブジェクトへ変更する API の一覧表

API		
print	interval	timeout
halftone	brightness	onreceive
onstatuschange	onbatterystatuschange	ononline
onoffline	onpoweroff	oncoverok
oncoveropen	onpaperok	onpaperend
onpapernearend	ondrawerclosed	ondraweropen
onbatteryok	onbatterylow	recover
reset		

イベントの変更

ePOS-Print SDK から Epson ePOS SDK にマイグレーションする際に、変更する必要があるイベントは下表のとおりです。

変更内容は「ePOS-Print SDK for JavaScript ユーザーズマニュアル」と「Epson ePOS SDK for JavaScript ユーザーズマニュアル」でイベントの通知先メソッドを登録する API を比較してください。

変更するイベント

機能	ePOS-Print SDK	Epson ePOS SDK
プリンターの切断通知	onerror	ondisconnect

ePOS-Device SDK からのマイグレーション

ePOS-Device SDK を使用したアプリケーションを、Epson ePOS SDK 対応アプリケーションに移行する方法を説明します。

Epson ePOS SDK の API を使用するマイグレーション

既存のアプリケーションのプログラムを修正して、Epson ePOS SDK 対応のアプリケーションに移行します。

マイグレーションの手順

変更手順は以下のとおりです。

手順		概要
1	SDK の置き換え	ライブラリファイルの置き換え 「 SDK の置き換え 」参照

以上で Epson ePOS SDK の API を使用したマイグレーションは完了です。

SDK の置き換え

アプリケーションプロジェクトに組み込まれている以下のファイルを、Epson ePOS SDK のファイルに置き換えます。

プログラムから参照するファイル名を修正してください。

種類	ePOS-Device SDK	Epson ePOS SDK
ライブラリ	epos-device-3.0.0.js	epos-2.0.0.js

付録

ePOS-Print SDK 互換 API

ePOS-Print SDK 互換 API でサポートしている、エプソン製 TM プリンターの新製品の機種情報とサポート API について説明します。

TM-m10

TM-m10 の機種情報は以下のとおりです。

		58 mm 仕様
解像度		203 x 203 dpi
印字幅		420 ドット
フォント		ANK フォント A、ANK フォント B、ANK フォント C、漢字フォント A、漢字フォント B
印字桁数	フォント A	ANK: 35 桁 / 漢字: 17 桁
	フォント B	ANK: 42 桁 / 漢字: 21 桁
	フォント C	ANK: 46 桁
文字サイズ	フォント A	ANK: 12 x 24 ドット / 漢字: 24 x 24 ドット
	フォント B	ANK: 10 x 24 ドット / 漢字: 20 x 24 ドット
	フォント C	ANK: 9 x 17 ドット
文字のベースライン	フォント A	文字の上端から 21 ドット目
	フォント B	文字の上端から 21 ドット目
	フォント C	文字の上端から 16 ドット目
初期改行量		30 ドット
色指定		第 1 色
ページモード初期領域		420 x 2400 ドット
ページモード最大領域		420 x 2400 ドット
ラスターイメージ		モノクロ画像、多階調画像
ロゴ		モノクロ画像、多階調画像
バーコード		UPC-A、UPC-E、JAN13、EAN13、JAN8、EAN8、CODE39、ITF、CODABAR、CODE93、CODE128、GS1-128、GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Truncated、GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded

2次元シンボル		PDF417、QR Code、MaxiCode、GS1 DataBar Stacked、GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、GS1 DataBar Expanded Stacked、Aztec Code、DataMatrix (Composite Symbology は非サポート)
罫線		非サポート
ページモード	線	非サポート
	長方形	
用紙のカット		カット、フィードカット
ドロアーキック		サポート
ブザー		オプション (パターン A ~ パターン E、エラー、紙なし、停止)
用紙レイアウト設定		非サポート
強制送信モード		サポート
エラーからの復帰		サポート
リセット		サポート
コマンド		サポート

ePOS-Print 設定

項目	値
Printing Method	Thermal (203 dpi)
Character Code Tables	Page 0-5、16-19、20-21、26、30-31、11-15、32-53

ePOS-Print Builder API サポート一覧

ePOS-Print Builder オブジェクト		
コンストラクター	addTextAlign メソッド	addTextLineSpace メソッド
addTextRotate メソッド	addText メソッド	addTextLang メソッド
addTextFont メソッド	addTextSmooth メソッド	addTextDouble メソッド
addTextSize メソッド	addTextStyle メソッド	addTextPosition メソッド
addTextVPosition メソッド	addFeedUnit メソッド	addFeedLine メソッド
addFeed メソッド	addImage メソッド	addLogo メソッド
addBarcode メソッド	addSymbol メソッド	addPageBegin メソッド
addPageEnd メソッド	addPageArea メソッド	addPageDirection メソッド
addPagePosition メソッド	addCut メソッド	addPulse メソッド
addSound メソッド	addRecovery メソッド	addReset メソッド
addCommand メソッド	toString メソッド	halftone プロパティ
brightness プロパティ	force プロパティ	message プロパティ

ePOS-Print API サポート一覧

ePOSPrint オブジェクト		
コンストラクター	send メソッド	open メソッド
close メソッド	address プロパティ	enabled プロパティ
interval プロパティ	status プロパティ	timeout プロパティ
onreceive イベント	onerror イベント	onstatuschange イベント
ononline イベント	onoffline イベント	onpoweroff イベント
oncoverok イベント	oncoveropen イベント	onpaperok イベント
onpapernearend イベント	onpaperend イベント	ondrawerclosed イベント
ondraweropen イベント		

ePOS-Print Canvas API サポート一覧

ePOS-Print Canvas オブジェクト		
コンストラクター	print メソッド	open メソッド
close メソッド	recover メソッド	reset メソッド
address プロパティ	enabled プロパティ	interval プロパティ
status プロパティ	timeout プロパティ	halftone プロパティ
brightness プロパティ	cut プロパティ	mode プロパティ
align プロパティ	onreceive イベント	onerror イベント
onstatuschange イベント	ononline イベント	onoffline イベント
onpoweroff イベント	oncoverok イベント	oncoveropen イベント
onpaperok イベント	onpapernearend イベント	onpaperend イベント
ondrawerclosed イベント	ondraweropen イベント	

TM-m30

TM-m30 の機種情報は以下のとおりです。

		58 mm 仕様	80 mm 仕様
解像度		203 x 203 dpi	
印字幅		420 ドット	576 ドット
フォント		ANK フォント A、ANK フォント B、ANK フォント C、漢字フォント A、漢字フォント B	
印字桁数	フォント A	ANK: 35 桁、漢字: 17 桁	ANK: 48 桁、漢字: 24 桁
	フォント B	ANK: 42 桁、漢字: 21 桁	ANK: 57 桁、漢字: 28 桁
	フォント C	ANK: 46 桁	ANK: 64 桁
文字サイズ	フォント A	ANK: 12 x 24 ドット / 漢字: 24 x 24 ドット	
	フォント B	ANK: 10 x 24 ドット / 漢字: 20 x 24 ドット	
	フォント C	ANK: 9 x 17 ドット	
文字のベースライン	フォント A	文字の上端から 21 ドット目	
	フォント B	文字の上端から 21 ドット目	
	フォント C	文字の上端から 16 ドット目	
初期改行量		30 ドット	
色指定		第 1 色	
ページモード初期領域		420 x 2400 ドット	576 x 2400 ドット
ページモード最大領域		420 x 2400 ドット	576 x 2400 ドット
ラスタイメージ		モノクロ画像、多階調画像	
ロゴ		モノクロ画像、多階調画像	
バーコード		UPC-A、UPC-E、JAN13、EAN13、JAN8、EAN8、CODE39、ITF、CODABAR、CODE93、CODE128、GS1-128、GS1 DataBar、Omnidirectional、GS1 DataBar Truncated、GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded	
2 次元シンボル		PDF417、QR Code、MaxiCode、Data Matrix、Aztec Code、GS1 DataBar Stacked、GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、GS1 DataBar Expanded Stacked (Composite Symbology は非サポート)	
罫線		非サポート	
ページモード	線	非サポート	
	長方形		
用紙のカット		カット、フィードカット	
ドロアーキック		サポート	

ブザー	オプション (パターン A ~ パターン E、エラー、紙なし、停止)
用紙レイアウト設定	非サポート
強制送信モード	サポート
エラーからの復帰	サポート
リセット	サポート
コマンド	サポート

ePOS-Print 設定

項目	値
Printing Method	Thermal (203 dpi)
Character Code Tables	Page 0-5、16-19、20-21、26、30-31、11-15、32-53

ePOS-Print Builder API サポート一覧

ePOS-Print Builder オブジェクト		
コンストラクター	addTextAlign メソッド	addTextLineSpace メソッド
addTextRotate メソッド	addText メソッド	addTextLang メソッド
addTextFont メソッド	addTextSmooth メソッド	addTextDouble メソッド
addTextSize メソッド	addTextStyle メソッド	addTextPosition メソッド
addTextVPosition メソッド	addFeedUnit メソッド	addFeedLine メソッド
addFeed メソッド	addImage メソッド	addLogo メソッド
addBarcode メソッド	addSymbol メソッド	addPageBegin メソッド
addPageEnd メソッド	addPageArea メソッド	addPageDirection メソッド
addPagePosition メソッド	addCut メソッド	addPulse メソッド
addSound メソッド	addRecovery メソッド	addReset メソッド
addCommand メソッド	toString メソッド	halftone プロパティ
brightness プロパティ	force プロパティ	message プロパティ

ePOS-Print API サポート一覧

ePOSPrint オブジェクト		
コンストラクター	send メソッド	open メソッド
close メソッド	address プロパティ	enabled プロパティ
interval プロパティ	status プロパティ	timeout プロパティ
onreceive イベント	onerror イベント	onstatuschange イベント
ononline イベント	onoffline イベント	onpoweroff イベント
oncoverok イベント	oncoveropen イベント	onpaperok イベント
onpapernearend イベント	onpaperend イベント	ondrawerclosed イベント
ondraweropen イベント		

ePOS-Print Canvas API サポート一覧

ePOS-Print Canvas オブジェクト		
コンストラクター	print メソッド	open メソッド
close メソッド	recover メソッド	reset メソッド
address プロパティ	enabled プロパティ	interval プロパティ
status プロパティ	timeout プロパティ	halftone プロパティ
brightness プロパティ	cut プロパティ	mode プロパティ
align プロパティ	onreceive イベント	onerror イベント
onstatuschange イベント	ononline イベント	onoffline イベント
onpoweroff イベント	oncoverok イベント	oncoveropen イベント
onpaperok イベント	onpapernearend イベント	onpaperend イベント
ondrawerclosed イベント	ondraweropen イベント	